

めぐりつと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所

TEL019-671-2244 FAX019-671-2243

E-mail miraiken@shiwa-mirai.com

前号までは、循環型まちづくりにおける町・企業・団体などの取組みを掲載してまいりましたが、今号では、町民だれもが、今すぐにごできる・やっている、環境に負荷をかけない取組みをご紹介します。

レジ袋とプラスチック製容器包装を減らそう！

●マイバッグを持参し、レジ袋を減らしましょう！

上記の呼びかけは、レジ袋の過剰な消費から、くり返し利用できる買い物袋の使用に切り替えることで、ごみの削減や、それに伴うCO₂などの温室効果ガスの削減、レジ袋の原料となる原油の節約などを目的としています。

レジ袋がなかったその昔、1950年代頃までの日本では、買い物には「買い物カゴ持参」のスタイルが一般的でした。商品は自分のカゴに入れて持ち帰り、豆腐は豆腐屋に鍋を持って買いに行くのが当たり前で、プラスチックのごみなどはほとんど存在しない社会でした。

70年代に入り、高度経済成長が進むにつれ、丈夫で安価なポリエチレン製のレジ袋が急速に普及。しかし、1973年のオイルショックを経て、石油資源の無駄遣いを見直す消費者活動や、増え続けるごみ問題などをきっかけに、買い物に専用布袋の試験導入や、レジ袋の再利用促進などの啓発活動が徐々に盛り上がってきました。

●紫波町レジ袋減らし隊の活動

平成20年度、町では「紫波町ごみ減量女性会議」の協力のもと、スタンプカードによる減レジ袋推進事業「紫波町レジ袋減らし隊」を実施しました。スタンプはすべて埋まるとラ・フランス温泉館の無料入浴券か500円分の図書券が抽選で当たるといしくみ。3月末までに目標値3万枚を大きく上回る14万8,000枚の減レジ袋を達成したことから、引き続き平成21年度も継続することとし、2年間で約39万枚も削減することができました。この事業のおかげで、マイバッグ持参の消費者が多くなったこと、環境問題に意識を向ける町民が増えることになりました。

●海に大量に流れ込むプラスチック

現在、海に年間少なくとも800万トンものプラスチックごみが流れこんでいるといわれています。ペットボトルやレジ袋、食品トレーやストローなど一度利用されただけで捨てられてしまう「使い捨て用」に使われることの多いパッケージ用のプラスチック生産が、プラスチックごみの量を増やすのに大きく影響しています。さまざまな問題とその原因を知ることも大事です。そのうえで、私たちにできることは、ポイ捨てをしないことに加え、海洋プラスチックごみの元となるプラスチック、特に使い捨て用プラスチックの利用自体を減らしていくことです。例えば、マイバッグやマイボトルを持ち歩くなどです。豊かな海を次の世代に残していくためにもプラスチック製品を日々利用する私たち一人ひとりが、できることから実行していきましょう！





『わかしお石けん』を使ってみませんか！

●「わかしお石けん」を知っていますか？

「エスケー石けん」という石けんメーカーが作っている固形石けん・台所用洗剤・洗濯石けん・シャンプー・歯磨き剤などの商品ですが、全国漁業協同組合連合会ではこの商品を「わかしお」ブランドとして、使用・普及活動を行っています。

「わかしお石けん」は環境に良くないとされる合成界面活性剤を一切含んでいませんし、市販の合成洗剤に比べて海産物に与える影響が低いことから、安全・安心な水産物を提供しようと漁場や漁村周辺の環境保全に取り組んでいる岩手県漁連が普及しています。

その活動に共感し、漁場の環境保全を行うためには、沿岸部だけでなく、川の上流域とも連携した取組みが必要ということから、循環型まちづくりの一環として水環境の保全に取り組んでいる紫波町もその活動を応援しています。



●紫波町と「わかしお石けん」の出会い

平成18年に町と東京のNPO法人地域パートナーシップ支援センターが主催した水のゆくえ～「森と水の循環講座」で、岩手県漁連が「母なる海を守る、森、川、人」と題して、講演をしていただいた時からです。その後、町では、同漁連から

「わかしお石けん」を仕入れ、産直に販売場所を設け、役場、保育園、小・中学校、また、一般家庭でも購入できる環境を整えました。



●循環型まちづくりを考える町民講座では

平成21年に開催された同講座では、エスケー石鹸(株)の中村さんを講師に「純石けんによる河川環境負荷軽減について」講演していただきました。下記に講演内容の一部を掲載します。

安全な水資源を守るためには使い終わった水を汚さずに返すことが重要です。法規制により浄化されている工業排水に対して、家庭の排水は規制がなく河川を汚しています。

家庭の排水を分類すると、台所から出る排水が全体の4割、トイレが3割、風呂が2割、洗濯が1割で、河川を汚す排水の原因は洗剤や油がほとんどです。排水を汚さない方法として、食器などの油汚れはあらかじめふき取ってから洗う、汚れの少ないものは洗剤を使用せず、アクリルたわしで洗うなどがあります。

そして、使う洗剤は石けんをお勧めします。「わかしお石けん」は、天然油脂を原料に作られていて、主に石油から作られる合成洗剤に比べて自然物質に分解されやすく、環境にやさしいという特徴があります。また、洗濯用の石けん洗剤には、本来必要のない成分の蛍光増白剤が混入されていません。また、洗い上がりが柔らかいため柔軟剤を使う必要もなく、環境影響も少なく済みます。

現在では、下水道や浄化槽が普及し、汚水の処理能力も進んでいますが、だからといって、無造作に廃食油などを排水に流してはいけません。岩手県沿岸の漁協女性部が中心に取り組んでいる環境保全の“思い”を忘れず、川の上流域に暮らし、海産物を消費している消費者として、安全・安心な「わかしお石けん」を使ってみませんか。



●商品の特長

もともと天然油脂から作られており、分解されやすく環境への影響が少ないという特徴があります。



●わかしお粉石けん
環境にやさしい洗濯用石けんです。洗う前にぬるま湯などできちんと溶かす必要があります。市販の石けんのような独特なおいはなく、洗いあがりはやわらかで、柔軟剤もいりません。



●わかしお洗濯用液体石けん
全自動洗濯機に最適な液体石けんです。粉せっけんの泡立ちが悪い時に少量つぎ足すと泡立ちが良くなります。液漏れ防止軽量キャップです。詰替えもあります。



●わかしお浴用石鹸
保湿作用のあるシソエキスを配合しました。酸化防止剤を使用していません。液体のような詰替えの必要がありません。



●わかしお台所用液体石けん
原料を厳選、パームカーネルオイルを使って手にやさしく、環境にも穏やかな食器洗い用石けんです。油污れも素早く落とします。詰替えもあります。



●わかしお固形石けん
純石けん 97%と頑固な汚れ落としに効果的な洗濯用固形石けんです。切って小さくしても使えます。

これらの商品のほかにも、シャンプー・リンス・ボディソープ・ハンドソープ・クレンザー・洗濯槽用クリーナー・漂白剤などを販売しています。

【わかしお石けん販売店】オガールプラザ西棟 産直紫波マルシェ(花コーナー) ☎672-1504



皆さんから集めた使用済み食用油で車が走っています！

紫波環境㈱では、家庭で発生した使用済みの食用油を各回収場所から集め、「BDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)」というディーゼルエンジン用の燃料を作っています。製造方法とBDFを使った車両を紹介します。

●製造方法

- ①回収した使用済み食用油を精製します。
※精製:天かすなどのごみを取り除きます。
- ②メタノールという薬品を入れ、温度を上げ、1時間置きます。
- ③BDFとグリセリンに分かれます。
- ④BDFに残った細かなごみを取り除くため、お湯で洗浄します。
- ⑤BDF完成。グリセリンは、捨てないで他の業者に利用してもらっています。



社用車と個人の車に「BDFを使っています」と表示して紫波町内を走っています。



家庭でできるエコ、みんなで考えましょう！

三角コーナーを置かない
生ごみは新聞紙やボールに
取り、できるだけぬらさない
※水分を減らすため

マイカップ・マイハ
シ・水筒の持参

古着は掃除に使っ
てから捨てる！

生ごみは
段ボールコンポストに！

わかしお石けん
(特に固形石けん)
を使う！

ペットボトル
のお茶は買
わない！

スーパーではレジ袋で
もマイバッグでもなく、
ダンボールを利用！

整理整頓で掃
除の際の電気
代節約

印刷物やチ
ラシを切っ
て、メモ用紙
に再使用！

豆腐パックもボ
ール代わりに再
利用してからリ
サイクルに！

節約やもった
い意識がごみ
減量につながる



上記は、2月26日(火)に紫波町ごみ減量女性会議が主催したごみ減量対話集会のワークショップの場でも出されたエコアイデアです。参加者は、ごみ減量女性会議の会員、一般公募で参加された町民、エコショップしわの皆さんです。上記のほかにもすばらしい意見が出ましたので、紹介します。

- 雑がみについて周知する必要がある。(ただし、資源回収していないと出せない)
- 野菜くずは乾燥させたり、水切りをしたりして軽くする。
- 以前は、会議も湯飲み茶わんを使用した。ペットボトルに異議あり。
- 子どもの時から、意識づけが必要。そのためにも定期的に分別方法を学ぶ場が必要。



ごみ減量は、家庭の取組みが大事!ごみ減量が習慣になったらしめたもの!!